

## II 研究について

### 1 現状と課題

#### (1) 定時制・通信制高校における生徒の現状

- ①小中学校からの不登校経験者も多く、社会力が身につけていない生徒が多い。  
発達障害・学習障害を持つ生徒が多い。
- ②勤労のモチベーション・自尊感情が低く、進路実現に課題のある生徒が多い。
- ③生徒は多様な学習歴をもつため学力に大きな差があり、一斉に行う授業にも限界がある。進路目標達成を実現するのに課題を有する。
- ④家庭の教育力が低く問題あるケースも多く、教員のかかわり方の難しい生徒も多い。

#### (2) 学びのセーフティーネットとしての定時制・通信制教育の充実の必要性

#### (3) 引きこもりなどを防ぐための社会力の育成の必要性

### 2 事業概要

#### (1) 調査研究のねらい

- ①進路アドバイザー（S S W的人材）やキャリアカウンセラーといった外部人材の活用が、定時制・通信制高校で学ぶ生徒の社会力向上や進路実現にどのような有効性を持つかを検証する。
- ②外部機関との連携と協働により、定時制・通信制高校の組織的な問題解決力の向上を図る。

#### (2) 調査研究の概要

- ①霞城学園高校を本県定時制・通信制課程の拠点校とし、県内5校の定時制・通信制課程を持つ県立高等学校を連携校とする。
- ②拠点校に進路アドバイザーを週5日、キャリアカウンセラーを週1日配置し、生徒の相談活動など直接的な支援を行うとともに、キャリア教育システムの構築支援、生徒の就職の開拓や外部との連携の推進、ライフスキル・ソーシャルスキルトレーニング講座を教職員との協働のもと実施する。また、定時制・通信制の特色をふまえた「進路実現ハンドブック」の研究・開発を行う。
- ③外部人材については拠点校の研究をふまえ、連携校に必要に応じて派遣するなどして成果の普及を図る。
- ④取り組みの成果を検証し、充実させるため、有識者や県教委・労働関係機関等により構成される推進会議を年2回開催し、併せて成果の普及を図る。また、事業最終年度（平成29年度）には、研究発表の機会を設ける。

#### (3) 期待される成果

- ①多様な生徒に対応できる学校組織としての教育力の向上
- ②外部人材や外部機関との連携と協働による教職員の指導力向上  
☆到達点：生徒の社会力向上のための取り組み（ライフスキル・ソーシャルスキルトレーニング講座など）のモデルケースづくり

③外部人材の直接的支援による個々の生徒への支援の充実

☆到達点：進路未決定生徒の減少、効果を連携校に発信

④多様な学習歴、学力差に対応した指導システムの開発

☆到達点：大学進学者の合格率、就職内定率の向上

### 3 調査の具体的内容・方法

#### (1) 実施時期・検討会議構成等

##### ①平成27年度から3年間

「定時制・通信制課程における支援・相談体制の構築事業」

(外部機関の教育力を活用した学校と生徒の社会力の向上)

(多様な学習歴を持つ生徒の学力向上対応については平成28・29年度)

②霞城学園高校を拠点校に、県内定時制・通信制高校5校を連携校として実施

③研究の充実、成果の普及などのため、有識者、県教委、労働関係機関をメンバーとした推進会議を設置

#### (2) 霞城学園高校での教育課程上の位置づけ

①ライフスキル講座については総合的な学習の時間

②ソーシャルスキルトレーニング講座については特別活動と課外活動

③多様な学習歴を持つ生徒の学力向上の手立てについては課外活動

#### (3) 施設・設備等

##### ①進路サポート室の設置

平成27年度から、進路アドバイザー及びキャリアカウンセラーが生徒への相談活動などの直接的支援を行うための専用の部屋の確保

#### (4) 研修

##### ①講演・講義

教員の進路指導力の向上や生徒のソーシャルスキルアップ等を図るため、進路アドバイザー及びキャリアカウンセラーが講演・講義を実施

#### (5) 効果測定について

①卒業年次生に対する相談活動の有意性を検証

②生徒のライフスキル・ソーシャルスキルの向上の検証

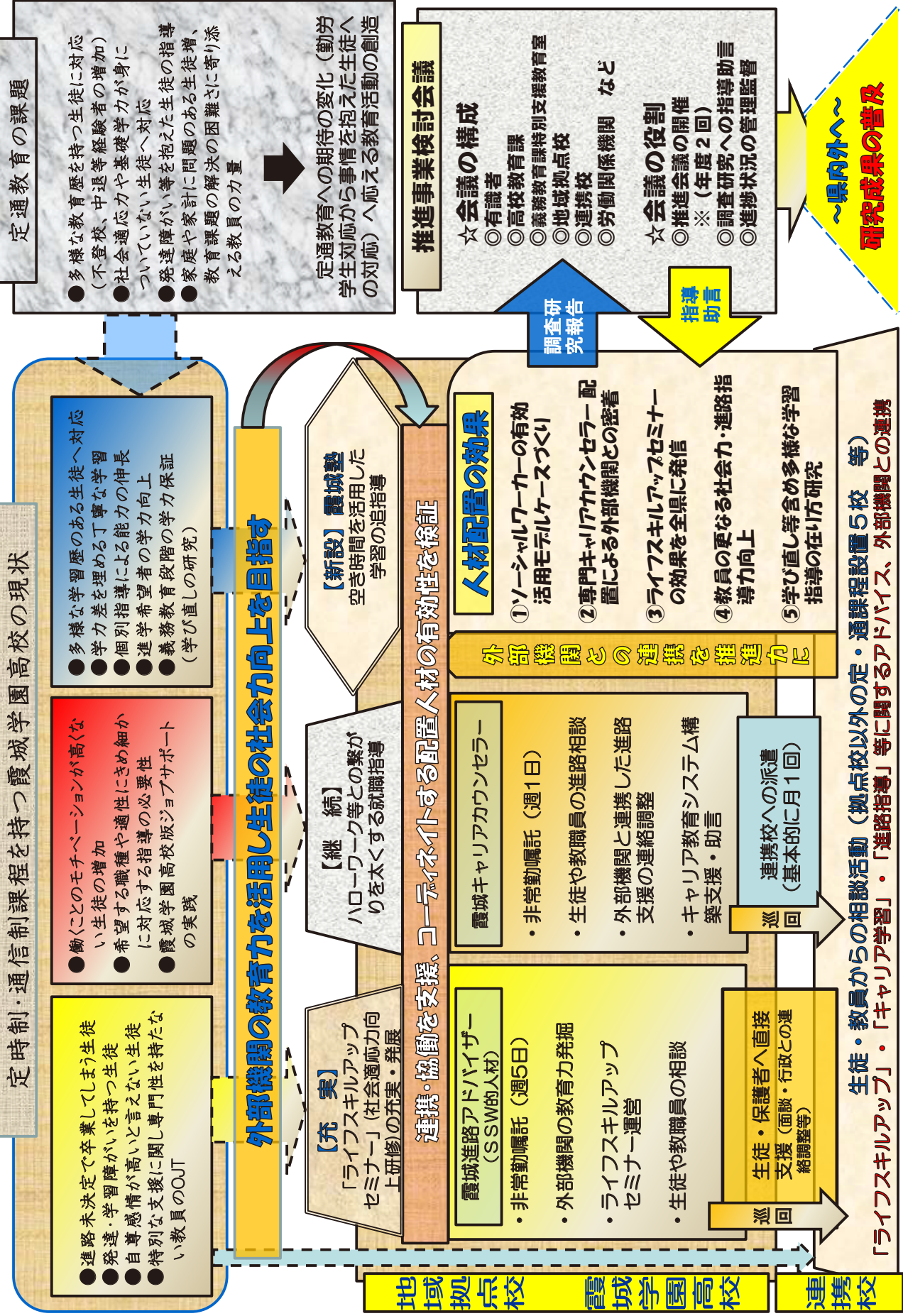
(生徒個々の社会力向上の状況を把握するシートの作成と活用)

③教員の連携・協働の実効性の検証

(成果ポイントの設定とチェックシート活用)

# 【定時制・通信制課程における支援・相談体制の構築】

～外部機関の教育力を活用した学校と生徒の社会力向上～



#### 4 推進委員会

No.	氏 名	所属機関・学校・職名等	役 割
1	浅黄 喜悦	霞城学園高等学校校長	拠点校・議長
2	柳谷 豊彦	東北文教大学子ども教育学科特任教授	有識者
3	佐竹 真次	山形県立保健医療大学教授	有識者
4	松井 愛	ぷらっとほーむ共同代表	有識者
5	井上 真一 小坂 岳雄	県若者就職支援センター本部長	労働関係機関
6	大泉 昌悦	山形労働局職業対策課地方障害者雇用担当官	労働関係機関
7	中西 真	山形公共職業安定所就職支援部長	労働関係機関
8	柿崎 則夫	県教育庁高校教育課長	県教委
9	岡崎 祐治	県教育庁義務教育課特別支援教育室長	県教委
10	神原 洋	県教育庁高校教育課指導主事	県教委・担当
11	石野森孝弘	新庄北高等学校（定時制）教頭	連携校
12	佐久間英郎	新庄北高等学校（定時制）進路指導主事	連携校
13	土屋 仁	米沢工業高等学校（定時制）教頭	連携校
14	山下 芳昭	米沢工業高等学校（定時制）進路指導主事	連携校
15	佐藤 りか	鶴岡南高等学校（通信制）教頭	連携校
16	齋藤 仁	鶴岡南高等学校（通信制）進路指導主事	連携校
17	砂田 智	鶴岡工業高等学校（定時制）教頭	連携校
18	佐藤 照子	鶴岡工業高等学校（定時制）進路指導主事	連携校
19	板垣 寿勇	酒田西高等学校（定時制）教頭	連携校
20	佐藤 一成	酒田西高等学校（定時制）進路指導主事	連携校
21	皆川 政浩	霞城学園高等学校副校長	拠点校・副議長
22	齋藤 昌広	霞城学園高等学校ⅠⅡ部教頭	拠点校・事務局
23	加藤 千恵	霞城学園高等学校Ⅲ部教頭	拠点校・事務局
24	加藤 治	霞城学園高等学校Ⅳ部教頭	拠点校・事務局
25	沼澤 欣一	霞城学園高等学校（定時制）進路指導主事	拠点校・事務局長
26	櫻井チカ子	霞城学園高等学校（通信制）進路指導主事	拠点校・事務局
27	田中 恵美	霞城学園高等学校（定時制）進路課	拠点校・事務局担当

〔推進会議〕年2回、本研究事業に対し、様々な見地から貴重なご意見をいただいた。

平成29年6月20日（火） 第1回推進会議：29年度の事業の進め方

平成30年2月21日（水） 第2回推進会議・研究発表会：3年間の事業のまとめ

## 5 校内委員会役割・組織図

職名	氏名	研究分担・役割
校長	浅黄 喜悦	調査研究の総括
副校長	皆川 政浩	委員長 調査研究全体の指揮、外部調整
I II 教頭	齋藤 昌広	事務主管 D・E
III 教頭	加藤 千恵	事務主管 A・B・C・F
IV 教頭	加藤 治	事務主管 D・E
事務部長	武田 克也	会計責任者
事務部次長	大沼 睦美	会計事務担当

〔小委員会（○印は代表）〕

	No.	職名	氏名	研究分担・役割
定	1	教諭	沼澤 欣一	事務局長、各事業の総括、会議等
	2	教諭	田中 恵美	事務局 外部人材の活用、(A) (B) (C)
	3	教諭	齋野 亜衣	事務局 外部人材の活用、A・B
	3	教諭	大谷 道雄	教務 D・E
	4	教諭	後藤 智子	教務 (D) (F)
	5	教諭	齋藤 博之	保健 (F)
	6	教諭	藤井 了栄	I 部主任 E：講習・個別指導
	7	教諭	高梨千恵子	II 部主任 C
	8	教諭	齋藤 秀智	III 部主任 D：「たいよう」
通	1	教諭	櫻井チカ子	事務局 B の企画、調整、(E)
	2	教諭	高橋 友晴	事務局 A の調整、(D)
	3	教諭	奥山 繁幸	教務 C・E
	4	教諭	平尾 玲子	教務 C・E
	5	教諭	小笠原珠江	保健 F
	6	教諭	三浦 勝美	マルチメディア D・E
	7	教諭	佐藤 優子	生涯学習事務局 F

A 委員会 相談活動、企画・スケジュール管理・調整、研究集録編集

B 委員会 ソーシャルスキル等講座・研修の企画

C 委員会 進路ハンドブック、LHR の教材開発

D 委員会 基礎学力アップ

E 委員会 進学希望者への対策

F 委員会 ライフスキル講座（総合的学習の時間）、生涯学習講座、  
発達障害支援・外部機関との連携

〔事業計画〕

H27～ 3年間 「定時制・通信制課程における支援・相談活動の構築」

- ・外部人材の活用 (H27～29) ◎定時制 ○通信制
- ・多様な学習歴を持つ生徒への対応 (H28・29) ◎通信制 ○定時制

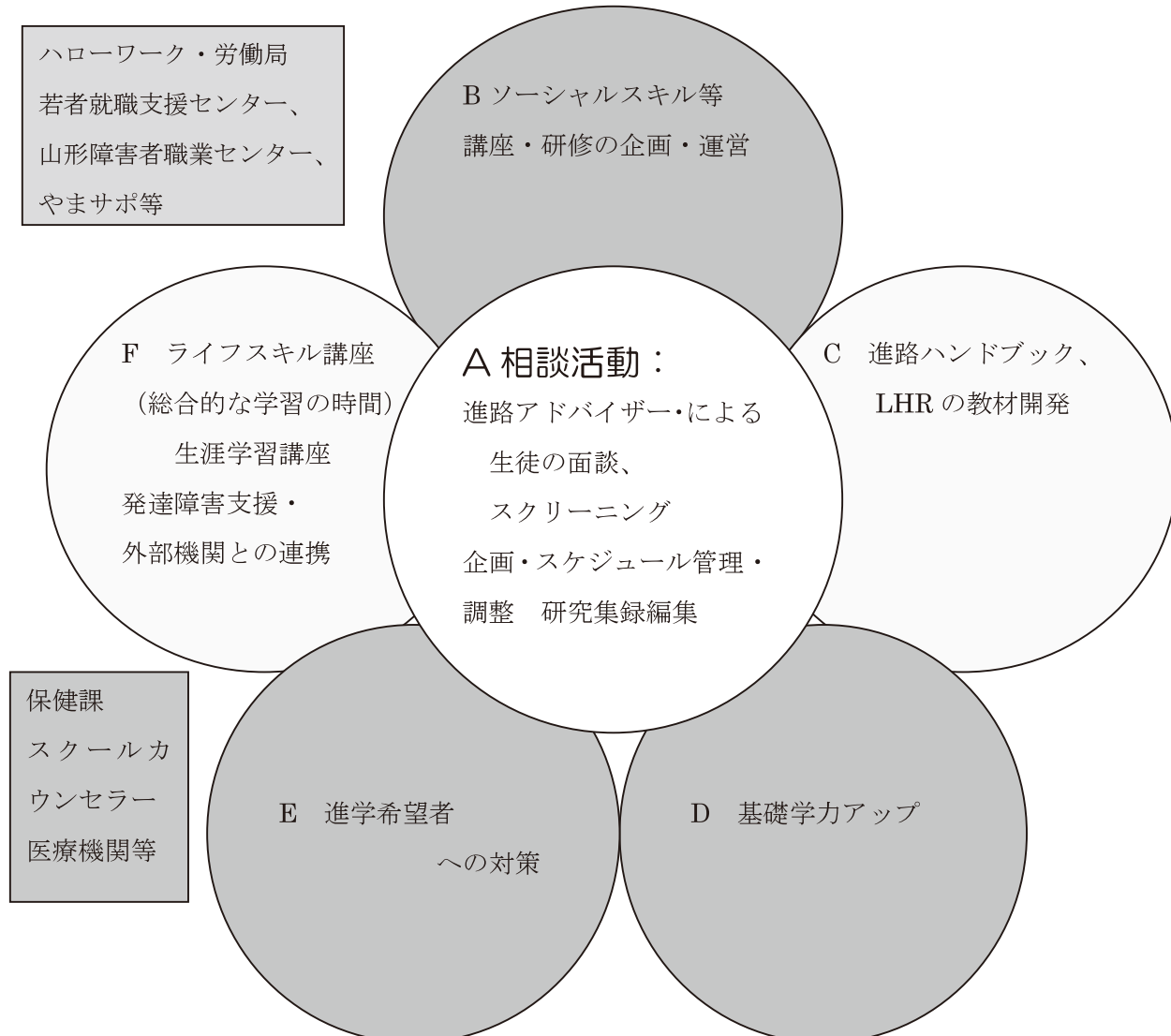
〔校内委員会〕

5月12日(金) 校内委員会①：29年度事業計画の確認

11月24日(金) 校内委員会②：それぞれの進捗状況と研究集録・研究発表会など

2月 2日(金) 校内委員会③：研究発表会に向けて

〔組織図〕 小委員会 (A～F) の主な担当内容



## 6 平成29年度 CSプロジェクト年間計画

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
全体企画	校内委員会①	推進会議① 定:職員研修会			合同職員研修会①					校内委員会② 合同職員研修会②		校内委員会③ 研究発表・推進会議②
連携校				新庄北(8/29)				鶴岡工(10/11) 鶴岡高(10/18)	米沢工(11/8) 新庄北(11/17)	鶴岡工(12/8) 鶴岡高(12/13)	新庄北(1/23)	
A相談活動、企画・スケジュール管理、研究集録	〈定時制〉 〈研究集録〉 〈通信制〉	進路アドバイザーによる面談活動① (主に卒業予定者)	進路アドバイザーによる面談活動② (主に次年度卒業予定者)					進路アドバイザーによる面談活動② (主に次年度卒業予定者)				
								研究集録割付	連携校・小委員会隔隔依頼	原稿集約・編集	研究集録編集・入稿	研究集録完成
	〈全体〉		SST講座									
Bソーシャルスキル等、講座・研修の企画	〈定時制〉 PTA総会・進学研修会 保護者向け講話	(キャリアカウンセリング)	進路行事との連携	卒業・就職セミナー								
	〈通信制〉		通:進路講話 通:キャリア学習①			(キャリアカウンセリング) 通:キャリア学習②				次卒・就職セミナー		
C進路、ハンドブック、LHRの教材開発、活用	定通 年度当初 周知	定 職員研修会 『進路ハンドブック』の活用を LHR学習(5・7・9月)										
D基礎学カアップ (定時制)	試験前学習会				合同職員研修会 試験前学習会					試験前学習会		試験前学習会
	総合的な学習の時間 (前期)							総合的な学習の時間 (後期)				総合的な学習の時間 発表会
		霞城塾(基礎カアップ学習 会)開始										
D基礎学カアップ (通信制)		HPに学習支援資料アップ (年間)										
		マルチメディア教育委員会										
E進学希望者への対策 (定時制)	PTA総会 保護者対象 キャリアカウンセリングによる進学講演会	教科 個別指導 卒業面接・小論文指導	夏期進学セミナー 卒業 夏期講習 高1・2 夏期講習									
			外部模試									
		外部模試										
E進学希望者への対策 (通信制)	教育資金説明・相談会 奨学金説明会	オープンキャンパス (個別の見学)	個別の指明・ 個別の相談活動									
Fライフスキル講座、 生涯学習講座、 発達障がい支援	〈定時制〉ライフスキル講座 総合的な学習の時間 (前期 II部)											
	〈通信制〉ライフスキル講座 総合的な学習の時間											
	生涯学習講座(前期)											生涯学習講座(後期)